

2019 年度 小委員会活動成果報告

(2020 年 1 月 28 日作成)

小委員会名	環境振動設計指針刊行小委員会	主 査 名：濱本 卓司 就任年月：2018 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	環境工学委員会 (企画刊行運営委員会)	委員長名：持田 灯 主 査 名：(岩田 利枝)
設 置 期 間	2018 年 4 月 ～ 2020 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	「建築物の振動に関する居住性能評価規準・同解説(AIJES-V0001-2018)」の内容を建築設計に反映させるための「居住性能のための環境振動設計の手引き」(改題)を刊行する. ・2018 年度：居住性能のための環境振動設計の手引き（第 1 稿）の作成 ・2019 年度：居住性能のための環境振動設計の手引きの作成，査読完了.	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：濱本卓司(東京都市大学) 幹事：上明戸 昇(建設環境研究所)，国松 直(産業技術総合研究所) 委員：石川孝重(日本女子大学)，井上勝夫(日本大学)，井上竜太 (竹中工務店)，佐伯兼久(ヤクモ)，鈴木雅靖(鹿島建設)，高野真一郎(大林組)，原田浩之(三井住友建設)，松本泰尚(埼玉大学)，横山 裕(東京工業大学)	
設置 WG (WG 名：目的)	環境振動設計指針刊行検討 WG ：「居住性能のための環境振動設計の手引き」刊行のための具体的作業	
2019 年度予算	20,000 円	ホームページ公開の有無：有 委員会 HP アドレス： https://www.aij.or.jp/gakujutsushinko/f-a00/fc00-12/fc40-12.html

項 目	自己評価
委員会開催数	6 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は除く)	なし
講習会	なし
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会承認企画	・第 38 回環境振動シンポジウム「振動計測と予測の現在と未来 - 環境振動設計指針の刊行に向けて-」，2020 年 1 月 28 日 13:30～17:30 開催，参加者数***名
大会研究集会	なし
対外的意見表明・パブリックコメント等	なし
目標の達成度 (当初の活動計画と得られた成果との関係)	1. 小委員会を年 6 回開催した. 2. 「居住性能のための環境振動設計の手引き」を作成し，環境振動運営委員会の査読を完了した. 3. 環境振動シンポジウムにおいて「設計における計測と予測の考え方」について説明した.
委員会活動の問題点・課題	なし

2019 年度 小委員会活動 自己評価

(中間年度評価・最終年度評価)

総合評価 (4 段階評価)	A B C D
総合評価に関する 自由記述欄 (理由、特記事項等)	1. 年 6 回の小委員会を開催し、「居住性能のための環境振動設計の手引き」の発刊に向けて、傘下の WG で作成された同手引きの原案について議論した、 2. 環境工学委員会の指摘を受け、刊行物のタイトルを「指針」から「手引き」に変更した。また、設計者によりわかり易いものとするために、「居住性能のための」という枕詞をつけた。 3. 環境振動予測情報小委員会や環境振動測定分析小委員会との連携を強化し、設計者目線での手引き作成に注力した。 4. 環境振動シンポジウムにおいて「設計における計測と予測の考え方」について説明し、会員の理解を深めた。

- 総合評価は 4 段階(A>B>C>D)にて、自己評価すること。
- 中間年度における自己評価は、単年度の活動計画・目標に対する達成度にて、最終年度における自己評価は、小委員会の設置目標に対する達成度にて評価する。自己評価の目安は以下の達成度レベルを参照のこと。
 - A 評価：小委員会設置目標に対し、80%以上の達成度
 - B 評価：小委員会設置目標に対し、70%から 80%の達成度
 - C 評価：小委員会設置目標に対し、60%から 70%の達成度
 - D 評価：小委員会設置目標に対し、60%以下の達成度
- 小委員会の活動に対し、第三者的評価・外部評価（シンポジウム、セミナー等の催し物を開催した場合に収集した参加者の評価など）に相当する情報がある場合には、その内容も記述すること。